



広島市消防局

〒730-0051 広島市中区大手町5-20-12

TEL.082-246-8211 FAX.082-247-1645

中消防署

〒730-0051 中区大手町5-20-12 TEL.082-541-2700

東消防署

〒732-0052 東区光町2-12-6 TEL.082-263-8401

南消防署

〒732-0824 南区的場2-5-14 TEL.082-261-5181

西消防署

〒733-0023 西区都町43-10 TEL.082-232-0381

安佐南消防署

〒731-0103 安佐南区緑井1-10-3 TEL.082-877-4101

安佐北消防署

〒731-0223 安佐北区可部南4-26-13 TEL. 082-814-4795

安芸消防署

〒736-0045 安芸郡海田町堀川町3-12 TEL.082-822-4349

佐伯消防署

〒731-5128 佐伯区五日市中央7-25-18 TEL.082-921-2235

▶ 消防車両出動状況案内サービス

火災や救助などでの消防車両の出動状況を
テレホンサービス及びホームページでお知らせして
います。

TEL.082-246-0119

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/>

広島市ホームページ▶暮らし・手続き▶消防▶お知らせ・Q&A▶
119番通報▶消防車などの出動状況のご案内

広島市消防局 消防通信指令管制システム



HIROSHIMA CITY
FIRE SERVICES BUREAU

世界に誇れる『まち』の実現に向けて—— 安全・安心な暮らしを見守る消防通信指令管制 システム

① 119番通報受付体制の強化

- 大規模災害時の柔軟な指令台運用
- 複数目標物検索機能
- NET119受信装置

広島市消防局 消防通信指令管制システムの特長

② 大規模災害対応能力の強化

- 消防隊タブレット
- 消防活動情報共有システム
- 高所監視装置
- 消防局作戦室設備

③ システムの耐災害性を強化

- 各署用簡易指令装置
- システムバックアップの強化
- 各種機器の免震化

広島市消防局の管内は、広島市域のほか、消防事務を受託している安芸地区（安芸郡海田町・坂町・熊野町）と、山県西部地区（山県郡安芸太田町、廿日市市吉和地区）で、現在、管内面積は約1,457km²、管内人口は約127万人となっています。

広島市消防局では、平成16年度に運用開始した消防通信指令管制システムの更新整備を行い、最新の技術を導入することで、より多くの同時通報に迅速・確実な対応を可能にしたほか、聴覚・言語機能障がいなどにより音声での119番通報が困難な方が円滑に通報を行えるよう、Web機能を活用したNet119緊急通報システムの導入、映像情報や文字情報などを活用した情報共有が可能なタブレット端末の整備等を行いました。

今後とも、地域住民の安心と安全を守るため、災害対応に万全を尽くしてまいります。

正確な情報確認と迅速な指令による、現場到着までの時間短縮を実現

● 通報から出動までの一連の流れ

通報受付

119番通報を受信すると、指令台の画面に通報者の住所情報や発信地付近の地図が表示されます。



災害種別・地点特定

通報内容から火災・救急などの災害種別を、住所や付近目標物といった情報から災害地点を特定します。



出動隊編成

出向中の車両を含め、災害種別・発生場所・規模に応じた最適な出動隊を自動で編成します。



出動指令

音声合成装置により出動指令を行うとともに、詳細な指令情報を指令書にて伝達します。



出動

出動隊は、出動途上において、指令情報や現場までの最短ルート、傷病者情報といった様々な支援情報を確認し、災害現場に急行します。



現場活動

消防局と情報共有を行い、的確な現場指揮のもと、現場活動を実施します。



指令装置

119番通報の受付を行います。指令管制業務に関わる全ての有線、無線を取り扱うとともに、自動出動指定装置、地図等検索装置を収容し、連携して運用を行います。

指令装置は4画面フルタッチパネルディスプレイで構成され、キーボード入力やマウス操作以外に電子ペンや手書き文字認識機能を採用し、操作全般のさらなる向上を図っています。

統合型位置情報通知装置

通報者が動揺していたり、自分の居場所がわからないなど、正確な位置情報が得られない場合でも、本システムにより、発信地情報を取得し、災害地点を素早く特定することができます。



多目的表示機能

車両一覧や病院情報などの指令管制業務に必要な支援情報を、場面にに応じて表示させることができます。



地図用ディスプレイ

多目的ディスプレイ

自動出動用ディスプレイ

受付補助ディスプレイ

自動出動指定装置

地図用ディスプレイで特定した災害地点や、災害種別・規模等の情報から、災害現場に近く、災害種別に応じた最適な車両を自動的に選別し、迅速に出動指令を行うことができます。



手書きメモ機能

作成した手書きメモ情報を、指令書に追加情報として印字させたり、画像として直接、車両運用端末装置に送ることができ、現場活動に必要な情報を、より正確に伝達することができます。



大規模災害時の柔軟な指令台運用

大規模災害時など通報が集中する状況下においては、通常1席4画面の指令台を、1席1画面に切り替えることで、より多くの119番通報に対応できる受付体制を確立します。



通常運用時 1席4画面運用



大規模災害時 指令台1席1画面運用

複数目標物検索機能

通報者が自分の居場所がわからない場合、そこから見える複数の目標物をもとにエリアの絞り込みを行うことができます。

通報者から得られる断片的な情報からでも通報場所を素早く特定できます。



NET119受信装置

聴覚障害や音声・言語機能障害等で、音声通報が困難な方のために、Webサイトを活用した119番通報を受信する装置です。GPSによる位置情報から通報場所を特定できるなど必要最低限の操作だけで通報内容を伝えることができます。



刻々と変化する現場状況をリアルタイムに確認・共有しながら、迅速・的確な現場活動をサポート

消防隊タブレット

署外活動中など、時と場所を選ばずに、必要な情報を入力、確認ができる携帯型の情報端末です。災害現場の状況を必要に応じて時系列に入力したり、静止画や動画を、確認することができます。その他にも過去の災害事案情報や道路、水利などの支援情報といった様々な情報を確認することができます。



消防活動情報共有システム

活動中の災害事案や車両運用状況といった最新情報を各消防署所で検索、閲覧することができます。消防局・署所間で情報共有を図りながら、連携して迅速・的確な災害対応を行うことができます。



大規模災害や広域災害時にも継続して業務遂行できるよう耐災害性をさらに強化

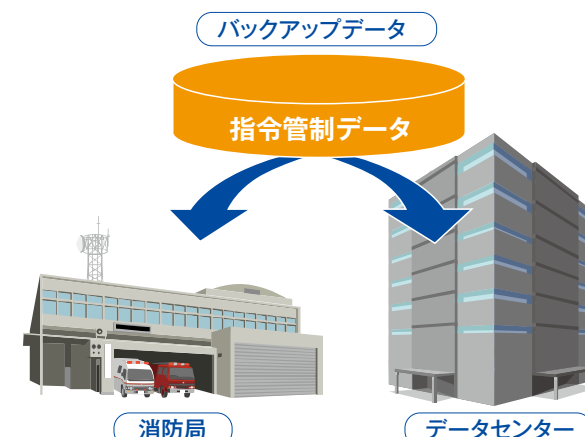
各署用簡易指令装置

大規模災害などで、万一消防局の指令台が使用不能となった場合、各消防署で事案管制を行う装置です。各消防署で、通報受付から出動隊編成、出動指令までを行い、継続して指令業務を行うことができます。



システムバックアップの強化

消防局庁舎が被災した場合などに備え、出動計画など指令システムを復旧する際に必要となる指令管制データを遠隔地のデータセンターに保管します。指令システム復旧に必要なデータ消失を防ぐとともに、早期に復旧を行い、指令管制業務を継続することができます。



災害状況をいち早く収集、把握することで、指令管制や初動体制の早期確立を実現

高所監視装置

市内3か所の無線基地局に設置した高所カメラにより、24時間管内状況を監視しています。災害が遠方で発生した場合でも、望遠レンズで捉えることにより、災害現場の状況を瞬時に把握することができます。



消防局作戦室設備

大規模災害時に、管内状況を速やかに把握し、災害規模や状況に応じて指揮統制を行います。把握した被害状況などの情報を映像として配信することで、消防局・署所間で最新情報を常に共有し、連携して迅速・的確な災害対応を行うことができます。



各種機器の免震化

指令台及びコンピューター室に設置している各種重要機器の免震化を行い、大規模地震が発生した場合でも、機器の損傷を防ぎ、指令管制業務を継続することができます。

